20XX年4月1日

総務部長

設備課　山田太郎

**照明電力の削減提案**

　先期から進めている工場の経費削減計画に基づき、設備課では電力使用量の削減を推進しています。電力使用量の6割を占める工作機械などの動力電力（200V）については、昨年度改善しました。今年度は、事務機・照明電力（100V）についての削減について下記のとおり提案します。

1. **照明電力使用料の現状と改善効果**

事務機・照明電力料のうち照明器具（白熱灯・蛍光灯）の電力使用料の内訳は図の通りである。

**照明電力料　68万円／年**

**照明電力料　240万円／年**

蛍光灯40万円

**改善後**

蛍光灯40万円　400個

LED灯28万円

白熱灯200万円　200個

1. **改善施策と予想効果**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **改善施策** | **実施内容** | **効果** |
| 1. 白熱灯のLED灯への切替
 | 200個の切替LED購入費用（IED単価平均3,500円）200個ｘ4,000円+20万円(取付)＝100万円電力削減額（LEDの電力は白熱灯の0.14倍）　200万円-（200万円ｘ0.14）＝172万円 | LED購入費用　100万円LED電力料 28万円電力削減額　 172万円今年度　約 50万円次年度以降　172万円 |
| 1. 蛍光灯のLED灯への切替
 | 切れた蛍光灯を順次LED灯に切替える。電力削減額（LEDの電力は蛍光灯の0.75倍） | 全て切替えた時点電力削減額40万円ｘ0.25＝10万円 |
| 1. 昼休みの消灯の徹底
 | 全体の90％の照明を45分間消灯とする電力削減額は約8％ | 実施内容を徹底すれば当面の電力削減額68万円ｘ0.08≒5万円 |

1. **節電推進運動の展開**

　上記項目実現のため、全社員に節電の意識高揚と徹底を目的に、次の事項を推進する。

* 1. “節電のしおり”のWebページを開設し、取組み内容と節電実績を表示する。
	2. 職場毎に「省エネ委員」を選任してもらい当面の間職場巡視を行う。

以上